

健康寿命延伸調査特別委員会会議録（要点筆記）

令和5年12月13日（水）
午後2時45分 開会
場所 委員会室

○中村和也委員長

ただ今から、健康寿命延伸調査特別委員会を開催します。

協議題1 調査事項についてを議題とします。（1）「県外視察の振り返りについて」を行います。

各委員及び部長にご提出頂いた報告書について、資料の順に補足説明をお願いします。最初に私から説明します。

【資料に基づき説明】

はんだ健康マイレージにおいては、アプリの導入を行うとともに、事業を応援いただいている企業や商工会などの協賛を得るなどして「参加賞」や「景品」を充実させるべきだと思いました。また、アプリ導入の際には、無関心層にアプローチするため、個人単位ではなく、家族、職場などの単位での事業を検討するべきではないかと思えます。

○麻生七海副委員長

【資料に基づき説明】

受動喫煙の害から市民を守るため、駅や中心市街地等において、路上喫煙禁止地区を設定する条例の制定を検討する必要があると思えます。

○伊藤正興委員

【資料に基づき説明】

健康を意識した庁内横断的な取り組み（公園整備や道路整備などハード面への対応）を行う必要があると思えます。

○鈴木英華委員

【資料に基づき説明】

身近な施設（スーパーや駅）などで健康情報を発信するための健康情報拠点を設け、健康無関心層を含めた全市民にアプローチすることが必要だと思えます。

○田中嵩久委員

【資料に基づき説明】

協賛事業者による従業員への禁煙啓発、事業所内での受動喫煙防止の取り組みである「スモークフリーパートナー制度」を創設し半田市をあげてスモークフリーの気運を醸成することもよいと思えます。

○坂井美穂委員

【資料に基づき説明】

産官学民が連携して健康づくりを行うことで、良い関係を築くきっかけとなり地域の発展につながるのではないかと思えます。例えば、市民の声を健康、医療に関わる新製品、サービスの開発を連携させる双方向システム「健康ヘルスサポーター制度」のような取り組みの実施を半田市においても検討する必要があると思えます。

○渡邊昭司委員

【資料に基づき説明】

子どもたちに学びの場を提供する「食育・食生活改善・キッズサポート教室・たばこを吸わせない教室」等の教育が必要だと思えます。

○石川英之委員

【資料に基づき説明】

半田市版「健康づくり推進条例」の創出を行う必要があると思えます。

○竹部益世福祉部長

【資料に基づき説明】

若年層（働き世代）からの健康管理意識の醸成（商工会議所、協会けんぽ等の連携）が必要であると感じました。

○中村和也委員長

ありがとうございます。

皆さんの報告にあった意見で共通していたものを少しまとめておきます。まずは、摂津市も吹田市も健都が中心となって健康・医療分野に取り組んでいたため、地域の資源を活かした特有の健康づくりを進められていました。半田市でも医師会や日本福祉大学などの関係機関と連携した取り組みが求められるかと思えます。他には、市民に分かりやすい啓発を行うことや、無関心層へどのようにアプローチするかという点が課題であることが分かりました。このことについて、ご意見等がありますか。

【「なし」との声あり】

○中村和也委員長

次に、(2)「オンライン視察（さいたま市）について」を行います。

このことについては、事前にご連絡をしていますが、1月12日（金）午前10時からに埼玉県さいたま市にオンライン視察を依頼しています。テーマについて説明しますので、しばらく休憩します。

午後3時12分 休憩

午後3時20分 再開

○中村和也委員長

委員会を再開します。

休憩中に、さいたま市の視察事項である「スマートウエルネスさいたま」について、説明をしました。

質問事項については、正副委員長案を事前に展開しており、追加する内容を募集していましたが、特になかったため、この内容で先方に送付したいと思います。

また、休憩中に(3)その他の次回委員会以降の日程についても協議しましたので、併せて申し上げます。次回1月12日（金）の次は、1月下旬に委員会を開催予定で、改めて候補日をお知らせします。また、1月下旬の委員会の少し前までに委員会報告の正副委員長案を展開する予定ですのでご承知ください。これまでの件について、ご意見はありますか。

【「なし」との声あり】

○中村和也委員長

ないようですので、この件については終わります。その他で、何かある方はいますか。

【「なし」との声あり】

○中村和也委員長

ないようですので、以上で健康寿命延伸調査特別委員会を閉会します。

午後3時25分 閉会